

MSW (医療ソーシャルワーカー) の魅力

- 様々な人、分け隔てなく話を丁寧に聞けること
- 病院の種類や地域にある資源を知ること
- 患者さんの病気への不安を、一緒に考えられること
- 保障について、保険や制度の使い方を知ることができること
- 今は無い、社会に必要なものに気づけること



MSW (医療ソーシャルワーカー) の魅力

- 病院やクリニックなど、医療機関で働けること
- 今、必要とされているときに支援ができること
- 医療ソーシャルワーカーは、カッコいい (できる人?)
- 自分に無い考え方を知ることができること



MSWの魅力とは

わたしの思うMSWはこんな人です

- 声をあげられない人に気づく人
- 医療専門職と患者さんの間に橋をわたす人
- 患者の権利を守る人
- 患者さんの持っている力を引き出す人

老健のソーシャルワーカー (支援相談員) のやりがい・魅力

自宅退所された利用者の笑顔に触れることができる

- 支援を必要としている、高齢者の実際の自宅の環境や、生活状況を見ることができる。
- 自宅環境を知ることや、地域で利用できるサービスの知識が身に付くことで、在宅で生活する利用者の生活のイメージが出来るようになる。

さまざまな職種との連携

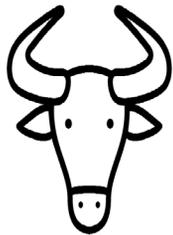
- 老健の支援相談員の業務には、施設内外の多職種との連携が欠かせない。
- 様々な職種と連携することで、在宅で生活したい思いを持つ利用者・家族を支えることができる。また、その支援チームの中心的な役割を担うことが出来る。

時間をかけた関わりができる

- 入所前から退所後まで長い時間をかけて利用者・家族と関わる事が出来る。退所後も通所リハビリやショートステイの利用に繋がったり、再入所をすることもするため、長期的に関わることが出来る。



働き方紹介



Aさん

介護の世界から病院へ転職
 昨年は出産・育児休暇を取得し、
 復帰後は短時間勤務制度を使い
 15時まで働く

キャリアアップ派

育児休暇中に精神保健福祉士を取得しました。

子どもが小さい時でもできるだけたくさん の経験をしていきたいです。病院には精神科があるので
 実習免除の証明を受けることができました。

働き方紹介



Bさん

2人の子どもの母です。
 今は子育てと親の介護を
 大切にしている時期です。

ワークライフバランス派

今年度は1か月半の介護休暇を取得し義母を
 自宅で看取りました。

野球を頑張る息子も全力で応援中!
 今までのキャリアを糧に、理解ある職場で仕事と
 生活の両方を大切に過ごしています。

入職前から現在まで

<SWを目指したきっかけ>

- 大学の進路選択の際に父の仕事 (MSW) について話を聞いた時、父の背中を追いかけてみたいと思った。
- 全ての人を対象にソーシャルワーカーとして働きたいと思った。

<入職してから感じたこと>

- 継続して学び続ける必要性・患者さんのために働くやりがいを感じる。
- 目の前の患者さんにベストを尽くすことの大切さ。

日々の業務と休日の過ごし方

<業務内容>

- 公費制度の案内、カンファレンスへの参加、転院相談
 電話対応etc...

<休日の過ごし方>

- 土日や連休を使ってお出掛け
 - 友達とカフェ・買い物・食べ歩きなどなど
 - たまにはお家でんびり読書や映画鑑賞、お菓子作りをしています。
- ※感染対策や感染状況を考慮して行っています。